


コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

| 項目 | 内容 |
|-----------|---|
| 事業者名 | 会社名：株式会社東五六 代表者職名・氏名：代表取締役社長・浅井 洋平 |
| 補助事業テーマ | デジタル技術を活用したサンプルオーダーシステムの構築 |
| 事業実施期間 | 令和2年10月28日 ～ 令和3年2月28日 |
| 事業の目的 | <ul style="list-style-type: none"> ① 日本国内外における非対面オーダーメイドサービス環境の構築 ② 日本国内外における『Made in Kyoto』の素材需要の発掘 ③ 異業種とのコラボレーションによる京焼・清水焼の発展 |
| 事業の実績(成果) | <ul style="list-style-type: none"> ① デジタル技術を活用したサンプルオーダーシステム環境準備完了。 ⇒顧客の作成したデータ・要件を3次元スキャナーや3次元ソフトを用いてデータ化を行い、3次元プリンター出力を行う環境を構築。顧客とのイメージ共有のツールとして活用が可能。また、ケースによっては、出力データを原型型としてももの作りを行うことも可能であることを発見した。 ② 京焼・清水焼を素材としたアートパネルサンプル作成を実施。 ⇒デザイナーとのコミュニケーションはオンライン会議システム、イメージ共有として3次元プリンターを活用し、京焼・清水焼を素材とした数種類のアートパネルのサンプル作成を実施。詳細なサイズ等の精度要求への対応方法を確立することが出来た。 ③ デジタルでのオーダー環境を構築することにより、工芸品・作品・アート分野とは少し異なるプロダクト市場での京焼・清水焼の発展の可能性を発見した。 <div style="text-align: center;">  </div> |
| 今後の展望 | <p>本デジタルオーダーメイドサービス運用が軌道にのり、京焼・清水焼以外の他業種にもナレッジやノウハウを横展開していくことでコロナウイルス感染症の収束後、国内市場・インバウンド・海外市場と様々な軸で事業活動が出来る京都の事業者が増えると考えている。それは、つまり京都の伝統産業がまた1つ成長することになると考えている。更に、本サービスの認知度が高まることで、『Made in JAPAN』の素材・商材に関する照会が増加し、益々『匠の技』を活用出来る機会が増え、お客様、作り手、事業者にとって三方良しに繋がると考えている。また、異素材との共同制作などにも繋がり、異業種とのコラボレーション促進に繋がるのではないかと考えている。</p> |